

令和8年度 北陸地方整備局 若手技術者賞 受賞者一覧

若手技術者【工事部門】 全10名

	技術者名	対象工事での役職	会社名	工事名	事務所名
【監理技術者】					
1	国沢 大輔	監理技術者	北陸電気工事（株）	富山地家裁高岡支部庁舎（23）電気設備工事	営繕部
【現場代理人】					
2	姉崎 友睦	現場代理人	（株）多田組	大河津分水路低水路掘削その14工事	信濃川河川事務所
3	五十嵐 慶	現場代理人	（株）谷村建設	R7田中川砂防堰堤工事	松本砂防事務所
4	井上 将志	現場代理人	（株）巴山組	馬取川下流砂防堰堤その3工事	阿賀野川河川事務所
5	岩 佑亮	現場代理人	（株）北都組	R6 249号輪島地区法面復旧その9工事	能登復興事務所
6	金内 璃子	現場代理人	射水工業（株）	庄川・庄地区根固補修他工事	富山河川国道事務所
7	高橋 哲平	現場代理人	竹沢建設（株）	福居地区道路改良その4工事	富山河川国道事務所
8	藤條 大地	現場代理人	廣川建設工業（株）	R6横山副離岸堤（No184）その2工事	黒部河川事務所
9	笛田 亮太	現場代理人	（株）森下組	檜ノ又谷砂防堰堤その7外工事	湯沢砂防事務所
10	藤吉 将大	現場代理人	五洋建設（株）	伏木富山港（伏木地区）伏木港大橋（災害復旧）改良工事	伏木富山港湾事務所

- ・敬称省略
- ・役職別、五十音順

若手技術者【業務部門】 全9名

	技術者名	対象業務での役職	会社名	業務名	事務所名
【管理（主任）技術者】					
1	新井 智之	管理技術者	（株）東京建設コンサルタント	R7信濃川下流内外水一体型リスクマップ検討業務	信濃川下流河川事務所
【担当技術者】					
2	阿部 翔太	担当技術者	八千代エンジニアリング（株）	令和6年度関川水系保倉川放水路海域影響検討業務	高田河川国道事務所
3	安藤 裕一	担当技術者	（株）建設技術研究所	令和6年度梯川河川整備効果検討業務	金沢河川国道事務所
4	大橋 浩史	担当技術者	（株）SKプランニング	R7阿賀野川河川事務所管内測量業務	阿賀野川河川事務所
5	小倉 匡介	担当技術者	開発技建（株）	令和7年度長岡国道管内道路網計画検討業務	長岡国道事務所
6	此川 典貴	担当技術者	（株）建設マネジメント北陸西	令和6・7年度利賀ダム工事事務所積算技術業務	利賀ダム工事事務所
7	高橋 大二郎	担当技術者	国際航業（株）	新潟港海岸整備効果検討業務	新潟港湾・空港整備事務所
8	前原 崇志	担当技術者	日本工営（株）	令和6・7年度富山管内道路防災定期点検業務	富山河川国道事務所
9	米島 陽太	担当技術者	（株）国土開発センター	令和7年度能登復興事務所管内道路資料作成業務	能登復興事務所

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	1
技 術 者	国沢 大輔 (監理技術者) 北陸電気工事株式会社 高岡支店 富山県高岡市能町字飛田946	事務所名	営繕部	
		工 期	(自) 令和6年2月20日 (至) 令和7年12月10日	
		請負金額	247,115,000 円	
工 事 名	富山地家裁高岡支部庁舎(23)電気設備工事	工事場所	富山県高岡市中川本町10-6	
選定理由	本工事は、富山地家裁高岡支部庁舎新築の電気設備工事である。本技術者は、早い段階での施工図作成及び、入居官署への確認を積極的行った結果、入居官署と良好な関係を保ちながら工事を進める事ができた。 さらに、3D CADを用いて各機器間の干渉チェックを行うことにより、手戻りが無く、作業時間を短縮することが出来た。 また、スマホを用いて建設機器の使用前点検及び点検結果の報告等、新たな試みを多く実施し、これからの建設現場のあり方を示した。 よって、他の建設技術者の模範となる技術者であることから、若手技術者として選定するものである。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	2
技 術 者	姉崎 友睦 (現場代理人) 株式会社 多田組 新潟県長岡市平2丁目1-15	事務所名	信濃川河川事務所	
		工 期	(自) 令和7年5月1日 (至) 令和8年3月24日	
		請負金額	333,916,000 円	
工 事 名	大河津分水路低水路掘削その14工事	工事場所	新潟県長岡市寺泊蛇塚地先	
選定理由	本工事は、大河津分水路改修事業の一環として、洪水被害の防止を目的に土砂の撤去を行うとともに、既設堤外水路の一部を撤去し、その端部を護岸工及び根固め工の施工により新たに整備する工事である。 本工事は排水機場からの排水による厳しい施工条件の中、3Dデータを幅広く活用し、工程管理だけでなく施工管理、出来形管理を行い、無事故で工期内に工事を完成させた。 さらに、通信型ドライブレコーダーによる安全管理強化やパワーアシストスーツ等の新技術の活用に加え、キャンピングバスを移動可能な休憩所として活用するなど現場環境の改善に取り組んだ。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	3
技 術 者	五十嵐 慶 (現場代理人) 株式会社谷村建設 新潟県糸魚川市寺町1丁目6番35号	事務所名	松本砂防事務所	
		工 期	(自) 令和7年5月7日 (至) 令和8年1月9日	
		請負金額	150,865,000 円	
工 事 名	R7田中川砂防堰堤工事	工事場所	新潟県糸魚川市 小滝地先	
選定理由	本工事は、砂防堰堤の新設に加え、融雪後5月に、雪崩による大所第9号砂防堰堤仮設施設の被災が発見され、緊急対応とし補修および撤去を行った。 今回の工事では、土石流危険渓流内での施工となるため、安全確保を図りつつ、降雨により発生した法面崩落に対しても、迅速な調査や見直し提案により工期内に無事故で完成させた。また、被災した仮設施設の補修・撤去を、関係機関と調整を密に行い、早急に完了させ、下流域の安全を確保した。 また、統括安全衛生責任者として労働災害防止の指揮及び統括管理を工夫して行い、工事関係者の安全意識を高めたり、地区勉強会で現場説明を行うなど、地域と積極的に関係を築き信用を得ることができた。 当該技術者のこれらの取り組みが特に優秀であったため、選定するものである。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	4
技 術 者	井上 将志 (現場代理人) 株式会社巴山組 新潟県東蒲原郡阿賀町九島1270番地	事務所名	阿賀野川河川事務所	
		工 期	(自) 令和7年3月25日 (至) 令和8年1月30日	
		請負金額	178,651,000 円	
工 事 名	馬取川下流砂防堰堤その3工事	工事場所	新潟県東蒲原郡阿賀町豊実地先	
選定理由	本工事は、馬取川下流における砂防堰堤の整備を目的として実施したものである。施工箇所は地山勾配が約45度と急峻で、かつ狭隘な地形に加え、豪雪地帯でもある。このような厳しい現場条件下において、墜転落災害や重機災害の危険性が高い状況であったが、適切な安全管理のもと、無事故・無災害を達成で工事を完了させた。 河川流量も常時多いことから、細やかな段取り替えが必要であったが、事前に発注者と十分な協議を行い、優れた調整力と工程管理力を発揮し、遅滞なく工事を終えた。地元集落に対しては、毎月「げんばだより」を配布し、工事内容の周知と理解促進に努めたことで、クレームなく工事を完了することができた。 さらに、若手技術者への指導・助言にも積極的に取り組み、人材育成の面でも高く評価された。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	5
技 術 者	岩 佑亮 (現場代理人) 株式会社北都組 石川県金沢市泉本町5丁目88番地	事務所名	能登復興事務所	
		工 期	(自) 令和6年7月9日 (至) 令和8年3月6日	
		請負金額	414,150,000 円	
工 事 名	R6 249号輪島地区法面復旧その9工事	工事場所	石川県輪島市門前町	
選定理由	本工事は令和6年能登半島地震で崩壊した法面の復旧工事を行う工事であり、施工箇所周辺を含め二次災害の恐れがある現場であったため、安全に十分配慮したうえで早期に対応を求められた工事であった。 さらに、発注後に発生した奥能登豪雨でも施工箇所や周辺箇所新たに発災や増破があったが、迅速かつ丁寧に啓開作業や周辺工事への応援を行い、他の受注者の模範となる対応であった。 また、本工事の施工箇所である法面崩壊箇所は比高が高く、脆弱化していたため施工が困難で危険が伴う状況であったが、新技術である斜面安全掘削工法(新SSD工法)の提案があり、安全な斜面掘削ができ、工程の短縮も図られた。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	6
技 術 者	金内 璃子 (現場代理人) 射水工業株式会社 富山県射水市二口2487番地の1	事務所名	富山河川国道事務所	
		工 期	(自) 令和7年6月20日 (至) 令和7年12月18日	
		請負金額	92,950,000 円	
工 事 名	庄川・庄地区根固補修他工事	工事場所	富山県砺波市庄川町 庄地先他	
選定理由	本工事のブロック据え付けにおいて、乱積みの出来形・出来映え確保のため現場に3次元モデルが投影されるARを作成し、現場投影して各作業員への説明等を行った。ブロックの据え付け期間中もARで現場投影して出来形を確認しながら施工することで、手戻りが無いように工夫を行った。 また、河道内の濁水対策として土工(掘削・運搬・盛土)作業の工程調整や漁協からの要望への協力を行い、苦情ゼロで工事を完了させた。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	7
技 術 者	高橋 哲平 (現場代理人) 竹沢建設株式会社 富山県射水市寺塚原836番地3	事務所名	富山河川国道事務所	
		工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年1月30日	
		請負金額	225,005,000 円	
工 事 名	福居地区道路改良その4工事	工事場所	富山県富山市 福居地先	
選定理由	本工事は、国道41号地域高規格道路大沢野富山南道路の富山市福居地先にて主たる工種(路体盛土)で5万m3を施工するものである。 現場は、NEXCO中日本株式会社のトンネル工事からの残土600m3／日(ピーク時)を受け入れるにあたり、日々土量が増加する状況があったが、搬出元の工事受注者との調整を行い、進捗に合わせて周りの構造物の施工を行うものであった。 国交省若手職員の現場研修会や富山大学の学生を対象とした現場見学会において、AR技術(完成イメージを現況写真に合成し表示)をタブレット画像で説明するなど積極的な姿勢が見られた。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	8
技 術 者	藤條 大地 (現場代理人) 廣川建設工業株式会社 富山県下新川郡入善町古黒部3124	事務所名	利賀ダム工黒部河川事務所	
		工 期	(自) 令和7年2月28日 (至) 令和7年10月31日	
		請負金額	138,853,000 円	
工 事 名	R6横山副離岸堤(No184)その2工事	工事場所	富山県下新川郡入善町 横山地先	
選定理由	本工事は総延長80mの副離岸堤工事のうち、前年度施工済み41mに続き残延長39mを施工する工事で施工管理全般を担当した。海象条件の変化に対応した工程管理を実施し、リアルタイムの気象・海象データを活用した作業可否判断により、無事故で完成した。 ブロックの陸上運搬及び海上運搬では、協力業者との綿密な打合せにより、運搬ルートの最適化と船舶手配の効率化を図った。出来形管理ではICT(海岸ほくり)を有効に活用し測量データを適切に管理することで据付精度を確保し、写真管理では施工記録を確実に整理し円滑な検査対応を実現した。海上工事特有の技術的課題に積極的に取り組み、優れた成果を上げた。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	9
技 術 者	笛田 亮太 (現場代理人) 株式会社森下組 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立130番地	事務所名	湯沢砂防事務所	
		工 期	(自) 令和7年5月28日 (至) 令和8年1月5日	
		請負金額	104,610,000 円	
工 事 名	檜ノ又谷砂防堰堤その7外工事	工事場所	新潟県南魚沼郡湯沢町大字土樽地先	
選定理由	本工事は、檜ノ又谷及び居頭沢の2地区にわたる施工箇所点在工事であった。檜ノ又谷砂防堰堤地区では、狭隘な林道や仮橋により溪流を渡河して現場にアクセスする必要があるため携帯電話等の通常の通信回線が確保出来ない環境であった。受注者は、衛星インターネット回線による通信環境を確保したうえでリアルタイムカメラを設置し、休日や夜間の降雨時においては遠隔で現地の安全確認を行える環境整備を行った。 また、左岸側前庭保護工施工に当たり、仮締切について完成した本堰堤の左岸側水抜き暗渠を閉塞し右岸側に流水が流れるようにしていたが、平時及び中小出水時に水抜き暗渠から浸み出した水を暗渠吐き口から締切外に戻るように、施工箇所への浸水リスクを低減させる工夫を行った。			

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】

令和8年度 若手技術者賞【工事部門】			番号	10
技 術 者	藤吉 将大 (現場代理人) 五洋建設株式会社 新潟県新潟市中央区東大通1-2-25	事務所名	伏木富山港湾事務所	
		工 期	(自) 令和6年11月12日 (至) 令和8年3月27日	
		請負金額	577,995,000 円	
工 事 名	伏木富山港(伏木地区)伏木港大橋(災害復旧)改良工事	工事場所	富山県高岡市材木町地内	
選定理由	本工事は、伏木港大橋(災害復旧)改良の撤去工、土工、舗装工、地盤改良工、擁壁工などを施工するものであり、民間企業や物揚場と近接しており狭隘な施工ヤードであった。 当該技術者は、工程への影響の大きい地盤改良においては施工上の課題を的確に把握し、大型施工機械の搬入計画や改良強度・確認方法等について実効性の高い提案を行うことにより、施工品質の向上および工程管理の適正化に顕著に貢献した。 また、近接企業への振動・粉塵対策や地域祭事への協力を通じて関係者の信頼を確実に獲得するなど、工事の円滑な実施に大きく寄与した。 その取組は他の模範となるものであり、顕著な成果を挙げたものと認められる。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	1
技 術 者	新井 智之 (管理技術者) 株式会社東京建設コンサルタント 北陸支社 新潟県新潟市中央区東大通1丁目2番23号	事務所名	信濃川下流河川事務所	
		工 期	(自) 令和7年6月20日 (至) 令和8年3月24日	
		請負金額	53,328,000 円	
業 務 名	R7信濃川下流内外水一体型リスクマップ検討業務			
選定理由	本業務は、従来の浸水想定区域図に使用している想定最大規模より頻度の高い降雨による氾濫を想定した浸水深や浸水範囲について解析を実施し、降雨規模毎の浸水深を示す「多段階の浸水想定図」及び場所毎の浸水頻度を示す「水害リスクマップ」について検討するものである。また、田んぼダムなど効率的な流域治水対策の実施手法を検討し、検討した流域治水対策の必要性・効果を適切に説明する資料を作成するものである。 当該技術者はその技術力を発揮し、信濃川下流の特性を踏まえ、全国に先駆けた田んぼダムモデルを組み込んだ平面二次元不定流モデルなどを作成し、市町村からの情報に基づく内水被害の実現象とシミュレーション成果の整合を図りながら、公表用リスクマップ等を作成したことから、選定するものである。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	2
技 術 者	阿部 翔太 (担当技術者)	事務所名	高田河川国道事務所	
	八千代エンジニアリング株式会社 北陸支店 新潟市中央区万代1-1-1	工 期	(自) 令和6年11月12日 (至) 令和7年12月26日	
		請負金額	39,941,000 円	
業 務 名	令和6年度関川水系保倉川放水路海域影響検討業務			
選定理由	保倉川放水路の河口予定地における地形変化予測計算に主体的に取り組む、保倉川放水路供用後の長期地形変化解析および長期地形変化予測モデルの構築、長期地形変化予測、放水路内への波浪侵入の影響把握、放水路河口部の地形変化予測、洪水時の放水路河口部の地形変化予測に取り組むとともに、予測成果を踏まえて河口処理計画の検討に関する関係機関との協議資料の作成するなど、多岐にわたる業務内容を適切に遂行し、保倉川放水路の河口予定地の長期的な維持管理に資する基礎的な資料整理に貢献していたため、選定するものである。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	3
技 術 者	安藤 裕一 (担当技術者) 株式会社建設技術研究所 北陸支社 新潟県新潟市中央区万代4丁目4番27号	事務所名	金沢河川国道事務所	
		工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年7月31日	
		請負金額	71,797,000 円	
業 務 名	令和6年度梯川河川整備効果検討業務			
選定理由	令和4年8月豪雨により梯川にて観測史上第1位を記録したことにより、梯川水系河川整備基本方針を気候変動を踏まえた新たな治水計画へ見直しを行う必要があったなか、過去の降雨データを含め、令和4年8月豪雨の検証を積極的に実施し、気候変動の影響を考慮した治水計画の見直し検討を責任感を持って実施し優れた成果を得た。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	4
技 術 者	大橋 浩史 (担当技術者) 株式会社SKプランニング 新潟県新潟市中央区文京町6番28号	事務所名	阿賀野川河川事務所	
		工 期	(自) 令和7年4月2日 (至) 令和8年3月31日	
		請負金額	32,989,000 円	
業 務 名	R7阿賀野川河川事務所管内測量業務			
選定理由	本業務は阿賀野川河川事務所管内の河川事業・地すべり事業を進めるために必要な測量を行うものであり、測量場所は広範囲で、並行して業務を進める必要があるため、高い業務執行能力が求められる業務である。 当該技術者は、河口部における砂州の変化を把握するための横断測量・深淺測量・汀線測量、地すべり事業の既設基準点位置精査のための測量、環境事業整備予定箇所の現況把握のための測量など、本業務にて実施されたほぼ全ての測量作業やその後のとりまとめに従事し、担当技術者の中でも総括的な立場で業務に貢献し、精度の高い業務成果を完成させた。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	5
技 術 者	小倉 匡介 (担当技術者) 開発技建株式会社 新潟県新潟市中央区紫竹山7-13-16	事務所名	長岡国道事務所	
		工 期	(自) 令和7年4月15日 (至) 令和8年3月19日	
		請負金額	33,990,000 円	
業 務 名	令和7年度長岡国道管内道路網計画検討業務			
選定理由	本業務は、管内の交通課題箇所における道路整備計画等の検討を行うものであるが、現況調査・課題整理においては、既存データの收集整理は基より、ETC2.0プローブデータを活用し速度低下箇所が一目でわかるモザイク図作成の他、独自に工夫した新たな見える化手法により潜在的な課題を含む面的な現状把握を図り、適切な整備計画検討を行った。 また、急遽、本業務にて緊急対応が必要となった課題の対策検討において、管理技術者と十分に連携を図り対応策等を迅速に検討した。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	6
技 術 者	此川 典貴 (担当技術者) 株式会社建設マネジメント北陸西 富山支店 富山県富山市中市1-5-26	事務所名	利賀ダム工事事務所	
		工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和8年3月31日	
		請負金額	74,756,000 円	
業 務 名	令和6・7年度利賀ダム工事事務所積算技術業務			
選定理由	工事本数も多く、特にトンネル工事や大規模工事等については特殊な上、工種も多岐にわたるため、作業内容も膨大であるが、限られた時間の中、変更時には同時期に作業を進めるなど困難な状況の中、適切な作業を実施し期限までに成果を納めた。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	7
技 術 者	高橋 大二郎 (担当技術者) 国際航業株式会社 新潟支店 新潟県新潟市中央区東大通2丁目3-26	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所	
		工 期	(自) 令和7年5月30日 (至) 令和8年2月27日	
		請負金額	13,882,000 円	
業 務 名	新潟港海岸整備効果検討業務			
選定理由	本業務は、新潟港海岸における直轄海岸保全施設整備事業の整備効果の検証を行うため、航空レーザ測深の実施および過年度の測深データを整理解析するものである。また、本事業における既往の費用便益分析結果について基準年度の見直しを行い、貨幣化が困難な投資効果について検討を行うものである。 当該技術者は、航空レーザ測深においては、測深データ成果と共に、鳥瞰図・鯨瞰図や既往データとの地形差分図を作成するなどの優れた手法や創意工夫がみられた。費用便益分析においては、貨幣化が困難な投資効果を多数提案するなどの積極的な対応がみられた。協議・報告においては、所定の回数にこだわらず頻繁に対面で報告し、論理的で容易に理解できる説明が行われていた。全般的に、誠意をもって適切な対応が図られていた。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	8
技 術 者	前原 崇志 (担当技術者) 日本工営株式会社 北陸事務所 石川県金沢市駅西本町5丁目1番43号	事務所名	富山河川国道事務所	
		工 期	(自) 令和6年9月20日 (至) 令和7年9月30日	
		請負金額	56,595,000 円	
業 務 名	令和6・7年度富山管内道路防災定期点検業務			
選定理由	本業務は、道路災害を未然に防止することを目的に、過年度に実施した各種防災点検により「カルテ監視」及び「要対策」に評価された「危険箇所の点検」及び異常気象後の「臨時点検」及び災害等発生後被災状況の把握、対策工法の検討の検討に必要な現地踏査となる「緊急点検」を実施するものである。 防災カルテ点検では、現地での調査にあたり、過去の点検結果や被災履歴等を十分に把握した上で点検を行った。点検後は今後の対応方針について適切に判断できるよう、専門知識をいかしたうえで、点検内容をわかりやすくとりまとめた。また、道路土工構造物点検においても同様に、適切な点検及び成果をとりまとめを行い、全体をとおり、精度の高い業務成果を完成に貢献した。			

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】

令和8年度 若手技術者賞【業務部門】			番号	9
技 術 者	米島 陽太 (担当技術者) 株式会社国土開発センター 技術開発研究所 石川県白山市八束穂三丁目7番地	事務所名	能登復興事務所	
		工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日	
		請負金額	81,114,000 円	
業 務 名	令和7年度能登復興事務所管内道路資料作成業務			
選定理由	「能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会」の運営補助や基本方針の策定に向けた関係機関へのヒアリング等の補助を適切な資料作成により実施するとともに、令和7年12月に実施した第5回検討会では「目指す将来像のイメージ画像」を作成することで、創造的復興にふさわしい資料とりまとめを行った。 当該若手技術者は、発注者の意図を適切に理解し必要な資料作成を行うことで、検討会委員との議論を円滑に進めることに貢献した。			